

検診で「要精密検査」と判定されたら

必ず精密検査を！

がん検診で「要精密検査」とな

った場合には、早めに医療機関を受診しましょう。がんだけでなく他の病

気が見つかる場合も少なくありません。平成28年度は、延べ6万2697人の方ががん検診を受けました。その中で、141人の方に、がんが見つかっています。



松本市のがん検診受診者数とがんが見つかった人数(28年度)(単位:人)

病名	受診者数	精密検査になった方	がんが見つかった方	がん以外の病気
胃がん	3,490	224	3	150
大腸がん	1万8,887	1,763	56	850
肺がん	1万5,166	1,133	16	581
乳がん	9,953	543	29	276
子宮がん	8,617	274	5	45
前立腺がん	6,584	572	32	142

年代別

松本市で受けられるがん検診

松本市のがん検診をご希望の方は、健康づくり課へお問い合わせください。受診券とご案内を送付します。

20歳代

女性 ・子宮がん(頸部細胞診)

20歳代の方にも増えているがんが子宮頸がんです。

これから妊娠・出産を迎える年代だからこそ大事な子宮。あなたの命と未来のために、検診を受けましょう。

男性 ・胃がん ・大腸がん
女性 ・胃がん ・大腸がん
・乳がん超音波
・子宮がん

(頸部細胞診+HPV検査)



30歳代

30歳から消化器系のがんに関する検診が受けられます。松本市に住民票があれば市の検診として受けられます。

30歳代後半から増えはじめる乳がんに対して、30歳以上の女性を対象に、超音波検診を実施しています。子宮頸がん検診では、HPV検査※という精度の高い検診を追加できます。

※子宮頸がんの原因と言われているヒトパピローマウイルスの感染の有無を調べます。

40歳代

男性 ・胃がん ・大腸がん

女性 ・肺がん(レントゲン・CT)
・乳がん(超音波・マンモグラフィ)
・子宮がん(頸部細胞診+HPV検査)

胃がん ・大腸がん
肺がん(レントゲン・CT)

40歳から肺がん検診が受けられます。CT検診(3年に1回)は、小さながんを発見できます。乳がんマンモグラフィ検診(2年に1回)では、しこりになる前のサイン(石灰化)を発見できます。

50歳代以上

男性 ・肺がん(レントゲン・CT)
・胃がん ・大腸がん

女性 ・前立腺がん
・肺がん(レントゲン・CT)
・胃がん ・大腸がん

・乳がん(超音波・マンモグラフィ)
・子宮がん(頸部細胞診+HPV検査)

50歳以上は、がんが身近になる年代です。検診は自覚症状がないからこそ受けるものです。



9月はがん征圧月間です

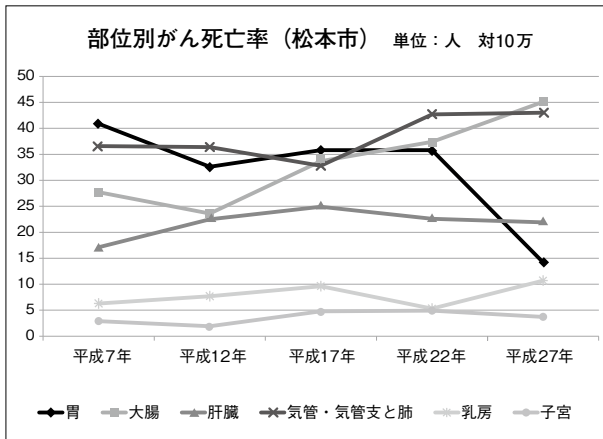
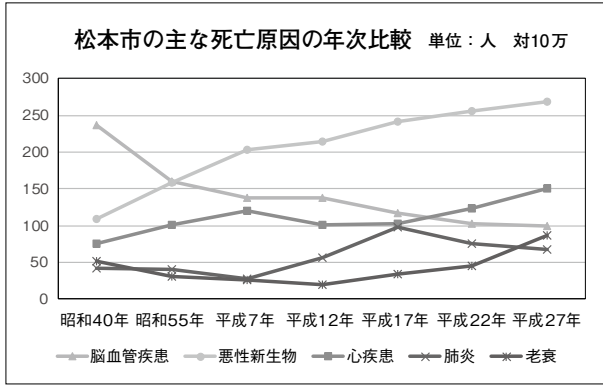
● 問い合わせ 健康づくり課 (東庁舎2階) ☎ 34-3217 ☎ 39-2523

がんは、早期のうちには自覚症状がありません。だからこそ、検診による早期発見が大切です。松本市のがん検診を受けましょう。

松本市のがんの現状



がんによる死亡率は、昭和55年頃から脳血管疾患を抜いて1位となり、以後増え続けている状況です。がんの部位別に見た死亡率では、近年、大腸がんや肺がんによる死亡が多く、女性では、乳がんも増えています。全国的にも同じ傾向がみられ、これまで多かった胃がんや子宮がんが減少している一方で、大腸がん、肺がん、乳がんなど欧米で多く見られるがんが増加しています。



増え続けるがんには

一次予防と二次予防を

一次予防

がんの発生は、正常な細胞が傷つくことからはじまります。この傷つける原因は、私たちの生活習慣の中にあります。最大の原因といわれているものが「たばこ」です。予防のためにも、喫煙は控えましょう。

非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡リスク

部位	男性	女性
肺がん	4.8倍	3.9倍
喉頭がん	5.5倍	1.0倍
食道がん	3.4倍	1.9倍
胃がん	1.5倍	1.2倍
肝臓がん	1.8倍	1.7倍
子宮がん		2.3倍
全がん	2.0倍	1.6倍



二次予防

がん検診によるがんの早期発見・早期治療です。以前は不治の病と言われていたがんも、初期の検診による早期発見で、治る病気になってきました。

検診でがんを発見された方の生存率は、検診以外で発見された方に比べ高くなっています。がん検診は、症状が出る前に受けましょう。

